

11月4日に発生した町田市バイオエネルギーセンターの火災について

町田市バイオエネルギーセンター内のバイオガス化施設で発生した火災について報告します。

1 発生日時

2023年11月4日 9時56分頃

2 発生場所

町田市下小山田町3160番地 町田市バイオエネルギーセンター
バイオガス化施設（設備機器等）

3 被害状況

(1) 人的被害

けが人等はなし

(2) 周辺環境への影響

当日周辺踏査の結果、臭気・ごみ・ほこり等の影響は認められず

(3) 物的被害

バイオガス化施設
設備機器等の焼損

【概略図赤線枠内】

〈焼損した設備機器等〉

②破砕装置

③破砕選別装置

④⑤選別ごみ

搬送コンベヤ※¹

⑥選別ごみ磁選機※²

※¹ 破砕選別後の燃やせるごみを生ごみピットに運ぶコンベヤ

※² 破砕選別後の燃やせるごみから金属類を除去する装置

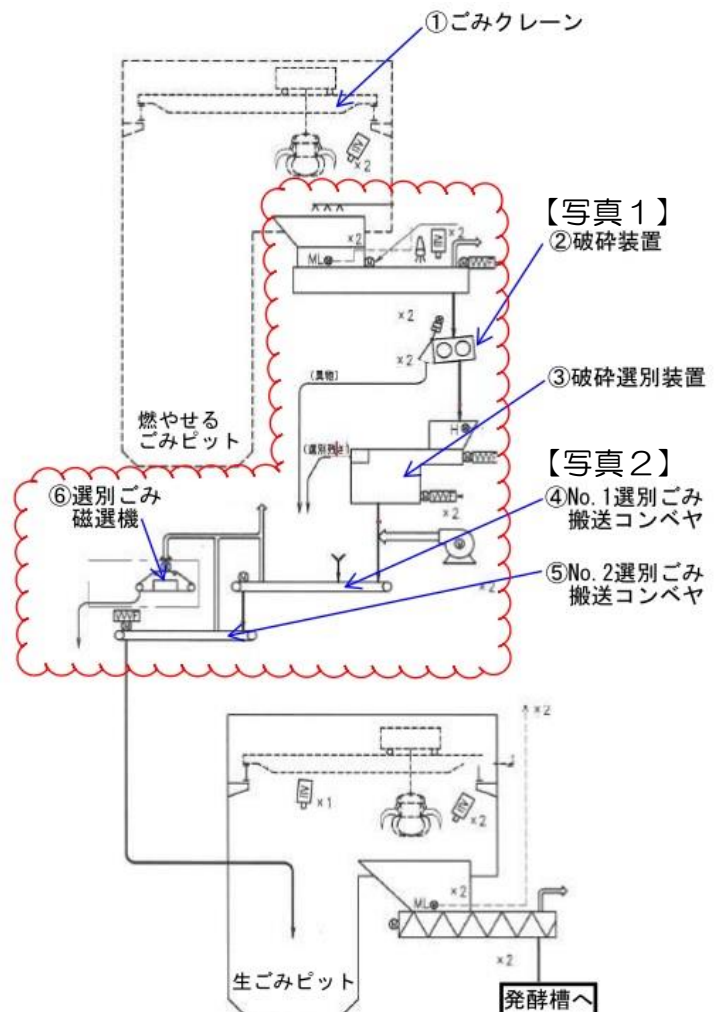




写真 1 破碎選別装置の焼損状況



写真 2 選別ごみ搬送コンベヤの焼損状況

4 火災当日のごみ処理について

- ・多摩ニュータウン環境組合の多摩清掃工場へ緊急搬入を要請し、燃やせるごみを約180トン、燃やせないごみを約17トンを18時頃まで搬入しました。
- ・「粗大ごみ」持込み予約の市民の皆様にも、日程の変更をお願いしました。

※なお、翌営業日の11月6日からは、「燃やせるごみ」「燃やせないごみ」「粗大ごみ」とともに、町田市バイオエネルギーセンターで通常どおり受入しています。

5 火災の原因について

11月10日に町田消防署、町田警察署による実況見分・質問調査が行われ、機器からの出火の可能性はないとされました。

11月15日には町田消防署による出火原因の調査が行われ、焼損物の確認作業からは、乾電池、充電式電池、スプレー缶、ライターが多数発見され、受け入れた「燃やせるごみ」中の小型充電式電池（リチウムイオン電池）から出火した可能性が高いと推定されましたが原因特定には至りませんでした。



6 当面の影響と対応

「燃やせるごみ」「燃やせないごみ」「粗大ごみ」は通常どおり受け入れていますが、バイオガス化施設は設備機器等の焼損によって、もし復旧に半年かかると燃やせるごみ約2200トンの資源化と、約235万kWhのバイオガス発電が行えず、1年復旧までに要すると約4400トンの資源化と、約470万kWhの発電が行えなくなる見込みで、資源化量や発電量に影響が生じます。（数字は2022年実績より推定）

また、現在は、バイオガス化施設で処理すべき生ごみ等を、「燃やせるごみ」として焼却処理していますが、町田市バイオエネルギーセンターの処理能力を超えるため、発災から1月末までで約350トンの燃やせるごみを外部の清掃工場へ応援処理していただいております。引き続きピットの状況に応じて外部へ処理をお願いします。

今後は、施設復旧の検討を進め、燃やせるごみの資源化としてのバイオガス化の再開を目指します。また、火災を防止する観点から、原因物が入らないようにする対応の検討を行うとともに、引き続き適正な分別排出についての啓発を行ってまいります。